

2 3 春闘勝利に向けた千葉地本青年部声明

私たちは、赤字とコロナ禍においても会社施策を担い、感染症対策に取り組みながら安全・安定輸送を確保し、赤字から黒字経営に戻してきた。しかし、2022年度の夏季手当では2.3ヶ月、年末手当2.4ヶ月+2万円という低額回答を示し、私たちの努力の結果と要求には遠く及ばない回答に終始した。

私たちは21春闘で「昇給係数2、ベアゼロ」の会社回答を受けて以降、22春闘でベア要求実現と定期昇給（昇給係数4）の完全実施を実現させるため、対話やアンケートを通じて組合員や未加入者の実態把握と議論を展開し、「生活実感」「労働実感」をベースに要求を練り上げ、経営姿勢に立ち向かってきた。しかし、定期昇給（昇給係数4）は確保したもののベア要求は実現しなかった。この背景には、組合員の苦しみ声とは裏腹に「思ったよりもらえてよかった」という社内世論が一部の社友会によって形成されていたことが、会社が団体交渉において「一定数以上の声が集まっている」と回答したことでハッキリした。しかし、多くの社友会員は意見を聞かれたことすら無く、利用されたと口々にしている。

これが千葉地本青年部に集まった声である！！

- ・国民の多くは光熱費の高騰に困惑している。高額な電気代の請求に驚いている。依然として給料は増えず、毎月休勤をやるのが当たり前かのような異常事態だ。係数4はもちろんのこと、黒字決算かつ、臨時特急や新幹線も満席になることが増えてきたので+ α で報奨金で報いるべき！
- ・国や会社の指導によりコロナの対応をしてきた。次は国が賃上げをするようにと指示を出しているのだから会社はそれに従うべきだ！物価上昇で今までと同じ生活水準は保てない。会社は「社員と家族に幸せを感じさせる」と言っているので賃上げが楽しみだ！
- ・社員1人あたりへの仕事量は増え負担は増す一方で、会社は動こうともしない。黒字化に向けて頑張ってきた社員への努力をまるで無視している。離職者を抑制するどころか会社に魅力を感じず、新入社員すらいなくなってしまうのでは？定昇4+ベア満額は必要だと改めて感じる。
- ・ボーナスが減っても定昇カットされても歯を食いしばって会社を支えたのは、まぎれもなく現場の社員！！国の言いなりで赤字を垂れ流し、退職者を激増させ社員の人生を狂わせた経営陣は不要！
- ・あれほど好調のトヨタ自動車社長が後身に道を譲っている。我が社の経営陣は真つ当な施策、経営が出来ないのか！？
- ・経団連が賃上げに言及するなか、出し渋りして方針に従えないような会社に、経団連加盟の資格は無い！今こそ我々の頑張りに応えるべきだ！！

以上のように青年部員からは、怒りや不安の声が上がっている。しかし、深澤社長は「賃上げに慎重」と回答をしている。また、一部の社友会が社内世論をつくり出し、春闘を破壊している。このような経営姿勢や社友会の本質を青年部が先頭に立って語り合いながら、JR東労組への組織拡大をしていかなければ現実を変えることは出来ない。経団連は23春闘に向け、ベースアップ中心に積極的な賃上げを呼び掛けている。私たちは要求を堂々と掲げ、要求実現に取り組んでいこうではないか。その為に全組合員と未加入者との対話を積み重ね、更なるJR東労組への結集をよびかけ、本当の要求の声を打ち出していこう！

2023年2月26日
東日本旅客鉄道労働組合
千葉地方本部青年部